

会議録

会 議 名	令和4年度 第2回 粕屋町国民健康保険事業の運営に関する協議会	
開 催 日 時	令和4年12月19日(月) 19時00分～20時00分	
開 催 場 所	粕屋町役場 2階 大会議室	
出席者氏名	委 員	公 益 代 表 因 悦子 安川 喜代昭 保 險 医 代 表 中村 幹夫 大町 浩二 被 保 険 者 代 表 清水 一成 長 保幸 御手洗 慶子
	事 務 局	住 民 福 祉 部 長 神近 秀敏 総 合 窓 口 課 長 大内田 亜紀 国 保 年 金 係 主 幹 持丸 陽子 後 期 高 齢 者 医 療 主 幹 永田 優子 国 保 年 金 係 山本 浩輝
欠 席 者 氏 名	木村 優子 箱田 博之	
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開	
会 議 を 公 開 し な い 理 由		
傍 聴 人 の 数	0人	
会 議 資 料 の 名 称	令和4年度 第2回 粕屋町国民健康保険事業の運営に関する協議会議案書	
会議の内容 1 開会 2 副町長あいさつ 3 事務局説明 本日は傍聴人がいない旨を説明 4 議事録署名人の指名 5 議事（内容について説明、質疑等）		

議案第1号 令和5年度粕屋町国民健康被保険者に係る所得割率、均等割額及び平等割額について

〈事務局から資料について説明〉

- ・令和5年度国保事業費納付金の仮算定結果
前年度と比較して標準保険料率は支援分と介護分が増、一人当たり納付金は5,750円の増
- ・保険税率、被保険者数の推移
税率等は上昇し、被保険者は減少している状況
- ・令和4年度粕屋地区の保険税率の状況
- ・令和4年度決算見込について
単年度収支としては約6,900万円の黒字を見込んでおり、同額が赤字解消見込額となる
- ・赤字削減・解消計画の変更について
- ・令和5年度予算見込について
- ・仮算定結果による事業費納付金と保険税について
来年度の現年保険税で集める額を8億499万3千円と算定
- ・仮算定結果の標準保険料率等による試算結果
標準保険料率では保険料収納必要額に足りず、支援分の均等割・平等割を各千円引き上げて収支が黒字となる。
- ・検討事項の整理
後期高齢者医療支援金分の事業費納付金が増加する場合は、支援分の均等割・平等割について引き上げを検討。今後被保険者減少に伴い、一人当たりの負担増大が考えられるため、引き上げと併せて負担軽減策を検討してはどうか。

〈主な質疑〉

- ・コロナと医療費の増減の関係について
現在は受診控えが無く、影響はない。感染流行した9月頃、外来が多かったが、現在は通常通りの傾向。
- ・令和4年度の本算定は国と県のどちらが出すのか。
県が各市町村の情報を集め、国が決めた係数をもとに県ごとに計算を行う。
- ・町は令和7年度までに約5,000万円の赤字を解消したいとのことだが、期限を延ばしていいかここで議論することではないかもしれないが、皆さんに負担してもらわないと解消できない状況をどう考えたらいいのか。

ずっと引き上げ続けるわけにはいかないと思っており、負担軽減を行い、それに対する一般会計からの支援も考えなければならない。また、期限の延長も不可能ではない。

- ・75歳以上の後期高齢者の負担は上げていこうとしている中で、支援分は減ってもいいのでは。後期高齢者医療の賦課限度額も大幅に引き上げる予定となっており、保険料を増額する方針が出ているため、国保としては、支援金の増え幅が軽減されることに期待している。

採決事項なしのため、質疑応答のみで会議は終了。

6 閉会